

令和5年7月19日 愛媛県立伊予農業高等学校図書委員会発行  
編集担当: 35R 阿部柚月 35R 竹内志織

# 7月 ライフライン・ニュース7月号

## 第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

- ☆『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇美緒／著 (集英社)  
少年時代に心に傷を負い、深海魚の一種「ラブカ」のようにひっそり生きてきた青年「橘」が、上司から音楽教室への潜入捜査を命じられる。身分を偽り、通い始めた教室で師や仲間と出会い、チェロを奏でる喜びに目覚めるが……。
- ☆『タガヤセ！日本「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』 白石優生／著 (河出書房新社)  
農業ってこんなに面白い！若き官僚・You Tuberとして多くのメディアにも登場する著者が、最新の農業から、実はスゴイ日本の農作物のこと、さらには日本の農業の未来までを語る1冊！伊予農の皆さんにぜひ読んでほしい一冊！
- ☆『昆虫の惑星:虫たちは今日も地球を回す』 アンヌ・スヴェルトルップ＝ティーソン／著 小林玲子／訳 (辰巳出版)  
虫が苦手という人は多いが、虫の世話になっていない人は地球に1人もいない。あなたの知らないところで黙々と仕事をしている昆虫たち。ノルウェーの女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へと誘う。



(書籍の画像・紹介文はSLAのホームページより)

★課題図書は3冊とも図書館に入っています。借りたい人はお早目に!!

## 読書感想文を書くにあたって～『らいぶらり』より

★強い感銘を覚えたが、どのように文章に書けばよいのか困ってしまうという場合は、まず一言書いてみよう。強く印象に残ったところから書き始めてみよう。単なるあらすじの記述にはならないように注意し、やがては主題に迫る自分の考えが述べられるようになれば、しめたものです。



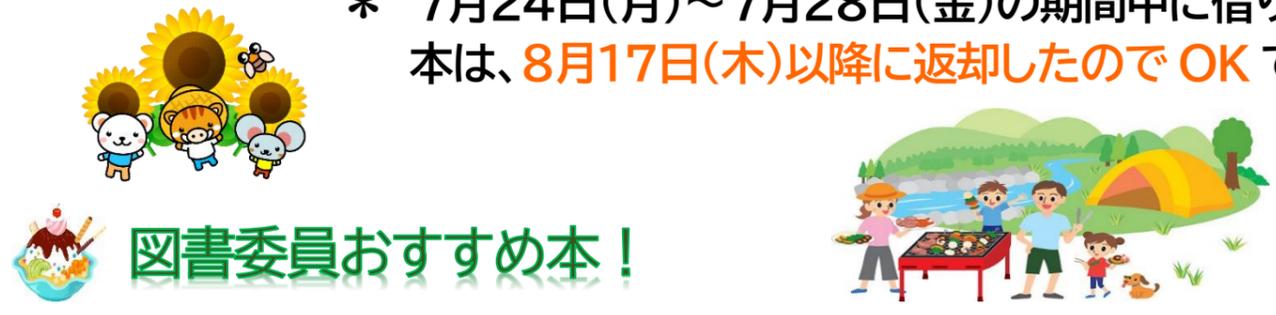
★本を読み終えたときにずっしりと心に残るものがあれば、感想や疑問点、要旨などをメモしておこう。  
★心揺さぶられる本との出会いの機会を得るためには、たくさん本と出会うことです。現在に自分にはないもの、気づいていないものを発見するとき、自分の中にある欲求や意識が目覚め、心揺さぶられること、つまり感動が生まれるのです。

## 夏季休業中図書館利用案内

\*進学ゼミの開催日に開館しているということです!

- ☆ 開館日 & 開館時間 : 7月24日(月)～7月28日(金)  
8月17日(木)～8月18日(金)
- ☆ 開館時間 : AM10:00～PM3:00
- ☆ 貸出冊数 & 貸出期間 : 1人 5冊まで

\* 7月24日(月)～7月28日(金)の期間中に借りた本は、8月17日(木)以降に返却したのでOKです。



## 図書委員おすすめ本!

今月のお題は「涼しくなる本」「夏休みにぴったりの本」です!



- ★35R 阿部 柚月さん おすすめ★  
『君は月夜に光り輝く』 佐野 徹夜／著  
★高校生の女の子が治らない病気にかかり、それを知った男子がその子の近くにずっといるというお話です。  
『君の隣臓を食べたい』 住野 よる／著  
★高校生の女の子が、学校の友達には隠している病気を地味で陰キャの男の子に見つけて、女の子ができなかったことを代理でやってあげて、そこから恋に発展していく…というお話です。
- ★35R 竹内詩織さん おすすめ★  
『チリとチリリ うみのおはなし』 どい かや／著  
★チリとチリリが海を探検する物語  
『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』 町田 そのこ／著  
★必死にひれを動かして、懸命に泳ぐ人たち